

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名    |   | 放課後デイサービス Retreat                                    |     |  |   | 公表日                                       | 令和8年4月13日 |
|---------|---|--|-----|--|---|---|-----------|
| 環境・体制整備 | チェック項目  | はい   | いいえ | 工夫している点  | 課題や改善すべき点   |   |           |
|         | 1   | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。                         | 6   |  |   |   |           |
| 2       | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。   | 6  |     | 基準を満たした職員配置に加え、ゆとりを持った人員体制を整えています。                       |   |   |           |
| 3       | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 5  | 1   | 今年度は「子どもたちに視覚的にわかりやすく」を目指して構造化に取り組みました。                  | 今後も必要に応じて、よりよい環境作りに努めてまいります。  |   |           |
| 4       | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。                                 | 6  |     |  |   |   |           |
| 5       | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。  | 6  |     | 個別活動を行ったり、クールダウンができる部屋を用意しております。こども一人ひとりに合った環境設定を行っています。 |   |   |           |
| 業務改善    | 6   | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。        | 6   |  |   |   |           |
|         | 7   | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 6   | 保護者からのご意見を参考に、職員間で共有し、意見を出し合い、改善へ繋げています。                 |   |   |           |
|         | 8   | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。               | 6   | 職員が意見を出しやすい環境作りを意識し、日頃から気付きや意見を共有できるよう努めています。            | 職員全員で支援内容を考え、チームとして一貫した支援ができるよう業務改善に繋げてまいります。   |   |           |
|         | 9   | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。                     |     | 6  | 現在、第三者による外部評価は実施しておりませんが、事業所内での自己評価や保護者アンケート等を通して課題の把握と改善に努めております。必要に応じて検討してまいります。  |   |           |
|         | 10  | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。    | 6   |  | 今年度は、「災害時における避難訓練の実際と医療的ケア児等コーディネーターの役割」や虐待防止研修、「SSWの職務と役割」「障がい児者の移動支援について」などの東区子ども部会の研修。また「発達の基礎となる感覚や運動の大切さ」を受講しました。事業所内では「感染症発症時の対応」、消防署の協力のもと「AEDの使用を含む救急対応」の研修を開催しました。 | より支援者の向上に繋がるよう、内容の充実や共有の在り方について検討してまいります。 |           |
| 11      | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。   | 6  |     |  |   |   |           |
| 12      | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。                | 6  |     | 職員が統一した支援が行えるよう個別支援計画の記載を詳しく丁寧に心掛けています。                  | 課題の変化に対しても迅速に対応し、共通した支援が行えるよう努めてまいります。  |   |           |
| 13      | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。  | 6  |     |  | 子どもの最善の利益を考慮できるよう、日々知識や経験を積み、支援を行ってまいります。   |   |           |
| 14      | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。   | 6  |     | 個別支援計画会議に加え、作成後も日々の課題に対し、共通理解を持ち、支援を行うよう努めています。          |   |   |           |
| 15      | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。   | 6  |     |  |   |   |           |

|              |  |  |   |   |  |  |
|--------------|--|--|---|---|--|--|
| 適切な支援の提供     | 16   | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 6 |   |  |  |
|              | 17   | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。   | 6 |   | 活動計画会議を開き、意見を出し合い作成しています。  |  |
|              | 18   | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。   | 6 |   |  | 活動が固定化しないよう工夫を行い、子どもたちが経験や体験を積み重ねられるよう取り組んでまいります。  |
|              | 19   | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。   | 6 |   | 個別で行う支援と集団で行う支援とを分け、計画を立てています。職員専門分野に繋げ、支援を行っています。                 |  |
|              | 20   | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。  | 6 |   |  | 支援開始前の打ち合わせをより密に行い、役割分担の確認を行っています。より一層それぞれの強みを活かした支援ができるよう役割設定を行い、チームとして連携を取ってまいります。                               |
|              | 21   | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。   | 6 |   | 振り返りができない日もありますが、翌日に共有する時間を持ち、伝達するよう努めています。                        |  |
|              | 22   | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。   | 6 |   | 支援記録、専門実施記録を当日中に記録をし、次回の支援に活かせるよう努めています。                           |  |
|              | 23   | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。  | 6 |   | 半年に1回程度面談を行い、モニタリングを行っています。  | ニーズへの適切な支援を計画し、実施できるよう努めてまいります。  |
|              | 24   | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。   | 6 |   |  |  |
| 25           | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 6  |   | 今年度から選択遊びに加え、おやつを選択できるようにし、日々の中で小さな自己決定を積み重ねられるよう支援しています。 |  |  |
| 関係機関や保護者との連携 | 26   | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。   | 6 |   |  |  |
|              | 27   | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。   | 6 |   |  |  |
|              | 28   | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。  | 6 |   | 保護者にご協力をいただきながら行っています。   |  |
|              | 29   | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。   | 6 |   | 担当者会議などで情報共有に努めております。  |  |
|              | 30   | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。   | 6 |   |  | 障がい福祉サービス事業所へ移行する子どもさんはまだいらっしゃらないですが、その際は協力してまいります。  |
|              | 31   | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。   | 6 |   | 今年度は児童家庭支援センターアグリと連携し、子どもさんの検査の結果やアドバイスを受け、支援内容に取り入れることを行いました。     |  |
|              | 32   | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。   | 4 | 2   | 支援学校・地域の小中学校など、様々な背景を持つ児童と一緒に過ごしており、日常的に他児との関わりや社会性を育む機会を大切にしています。 | 外部の児童クラブや児童との交流については現在実施できておりませんが、子ども一人ひとりの特性や安心できる環境を重視しながら、無理のない形での関わりを提供してまいります。今後も必要に応じて、よりよい交流の在り方を検討してまいります。 |
| 33           | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。                              | 5  | 1 | 東区の子ども部会への参加を積極的に行っています。                                  |  |  |

|          |    |  |   |   |   |  |
|----------|----|--|---|---|---|--|
|          | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。   | 6 |   |   | より共通理解を深められるよう連絡の工夫を行ってまいります。                                  |
|          | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。               | 6 |   |   | 家族が参加できる研修開催や情報提供を行ってまいります。                                    |
| 保護者への説明等 | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。   | 6 |   |   |  |
|          | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。         | 6 |   |   |  |
|          | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。                                 | 6 |   |   |  |
|          | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。  | 6 |   | 送迎で保護者と接する職員はもちろん、保護者のお悩みを共有し、児発管や心理担当がお話をうかがい、支援できるよう努めています。 |  |
|          | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 6 |   |   | 保護者会の開催を計画的に行ってまいります。  |
|          | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。                       | 6 |   |   | 迅速に対応できるよう情報共有等を含め、努めてまいります。                                   |
|          | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。                   | 6 |   | 評価集計に関してや支援プログラムはHPにて公開しております。                                | Instagramは今年度で終了しますが、より保護者の方へ伝わりやすいツールや方法の見直しを進めてまいります。        |
|          | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。  | 6 |   |   |  |
|          | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。  | 6 |   |   |  |
|          | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。  | 4 | 2 | 地域との関わりとして、マルシェへの参加や、行事の際に地域のお店にご協力いただくなどの取り組みを行っております。       | 一方で事業所への招待等については環境面から実施が難しい状況ですが、今後も地域との関わり方について引き続き検討してまいります。 |
| 非常時等の対応  | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。            | 6 |   | 各種マニュアルは事業所内に整備しております。訓練については、国の基準を満たす内容で実施しております             | 現在は予定表等でお知らせしておりますが、今後はより分かりやすい形での周知について検討してまいります。             |
|          | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                                  | 6 |   | 備蓄の物資の管理は定期的に行っています。  | 非常災害時の避難、救出についての訓練を行ってまいります。                                   |
|          | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。  | 6 |   | 園外活動の際は頓用薬の携帯し、発作時の動きの確認を打ち合わせしています。                          |  |
|          | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。   | 6 |   |   |  |
|          | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                               | 6 |   | 職員が閲覧できるところに整備しています。  | 共通理解を図り、行動ができるよう職員間で努めてまいります。                                  |
|          | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                                  | 6 |   | 安全計画に基づく取組内容については事業所内に整備しております。                               | 今後はより分かりやすい形での周知についても検討してまいります。                                |
|          | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。  | 6 |   | ヒヤリハット発生時には、報告書提出とともに再発防止について共有を行っております。                      |  |
|          | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。   | 6 |   | 虐待防止のための研修会参加。また、アンケート実施を定期的に行い、自身の振り返りを行えるよう努めています。          |  |

|    |  |   |  |  |  |
|----|--|---|--|--|--|
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 6 |  |  | 一人ひとり、やむを得ず身体拘束を行う可能性について保護者へご説明し、了承を得てまいります。組織的に統一した意識で支援を行ってまいります。 |
|----|--|---|--|--|--|